

避難小屋は、悪天候など山岳地における緊急事態を回避し、命を守るために設置された、公共の施設です。そのため、その利用については、いくつかのルールがあります。ご確認ください。
みなさんの節度ある利用を、どうぞよろしくお願いいたします。
Please use this Mountain hut only in case of emergency or bad weather.

避難小屋 利用のルール

2020年10月16日供用開始

哇ヶ丸避難小屋

Azegamaru Hinan-goya

感染症の予防
対策をお願いします。



Photo : SAITO Mamoru



避難小屋利用の基本ルール

- 非常時のための施設です。山行の宿泊地としての計画的・定期的な利用はお控えください。
- やむを得ず宿泊する場合は、感染症の予防を行い、3密の状態を回避するよう、譲り合って利用してしてください。
- 他の利用者を排除するような独占的利用を禁止します。
- 避難小屋は無人の小屋です。そのため日々の掃除は、利用するみなさんが責任者です。個人のゴミは個人で持ち帰り、退出するときは、トイレを含め、来た時より美しく、清掃をお願いします。
- 小屋内は禁煙です。
- 毛布・寝具等、物品の残置を禁止します。持ち込んだものはすべて持ち帰ってください。
- 釘打ちをふくめ、小屋を損傷する行為は禁止します。
- 避難小屋を出るときは、窓と戸を必ず閉めてください。
- 利用する際は、避難小屋日誌への記入をお願いします。



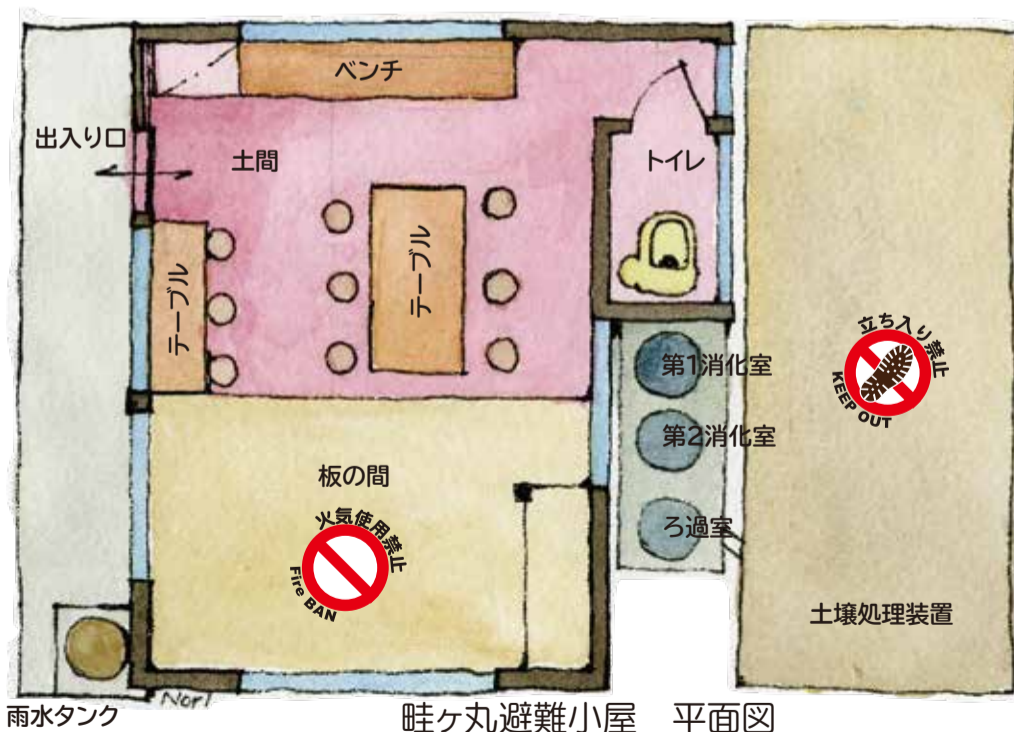
火の取扱(調理、照明)について

- 火気を使用できる場所は「テーブル」もしくは「土間」。必ずコンロ敷板を使用してください。
- 「板の間」での火気使用はランタン(電池式を除く)を含め禁止します。
- テーブルで使用できる火気 ○ガスストーブ(EPIなど) ○ガソリン・灯油ストーブ(MSRなど)
- 使用を禁止する火気 ×固形燃料(メタ、エスビット、缶メタなど) ×アルコールストーブ・バーナー ×薪・炭等を燃やす焚き火台、直火 ×ろうそく(照明用も不可)



避難小屋利用の基本ルール(抜粋)

- 独占的利用の禁止
- 利用後は必ず清掃
- ゴミ持ち帰り
- 寝具等、物品残置の禁止
- 出るときの窓閉め・戸閉め
- 避難小屋内禁煙
- 釘打ち等、小屋の損傷禁止
- 火気使用はテーブルのみ
- 板の間での火気使用禁止
- 「使用を禁止する火気」があります。別記ご確認ください。



使用を禁止する火気

- 固形燃料
メタ、エスビット、缶メタなど
- アルコールストーブ
アルコールバーナー
- 薪・炭等を燃やす焚き火台
- 直火
- ろうそく(照明用も不可)



神奈川県自然環境保全センター自然公園課

046-248-2546

Kanagawa Prefecture Natural Environment Conservation Center